

高等学校【国語】正解・解答例

一

問一 ①、②、④

問二 ① ICT

② 個別化

③ 個性化

問三 (一) (ア)

社会生活

(イ)

伝え合う力

(ウ)

読書

(二) ① ×

② ○

③ ○

○

配点：問一 2点、問二 各2点×3、問三 各2点×6

20点

二

問一

(一) 腐心 (二) 奨励

(三) 軌跡 (四) かそ

(五) つうぎよう

問二

① (イ) ② (ア)

③ (オ) ④ (エ)

X 在原業平

配点：各2点×10

20点

三

問一 換言するな

問二 (ア)

問三 「生産」から「消費」への転換

問四 (ウ)

問五 ある意味で

問六 夢と魔法の王国

問七 自分にとって心地よい物や人々に取り囲まれ、葛藤のない世界を構成することで、資本主義社会の中で自然や第三世界から収奪が行われていることや、生産的、消費的価値を持たないものが排除されていることを忘れさせる ような仕組み。

配点：問一 6点、問二 5点、問三 6点、問四 5点

問五 6点、問六 5点、問七 12点

45点

四

問一 小さく、古ぼけた劇場

問二 ア それほきつ イ 何かを創り

問三

(一) (イ)

(二) (エ)

問四 (オ)

問五

(解答例)

夢からかけ離れた現実の職場に愛想を尽かしかけていたが、同じ職場に創造的で手
応えのある仕事を見出し、これからその仕事に打ち込んでいこうとする心境を表現し
ている。

問六 (ウ)

配点：問一 5点、問二 各5点×2、問三(一) 3点(二) 5点、問四 3点

問五 10点、問六 4点

40点

五

問一

a (ク) ↓ (カ) b (ク) ↓ (ウ) c (エ) ↓ (ア) d (エ) ↓ (ア)

問二

A そのままつかんで、決して放し申し上げなさない。

B どうして中宮様の御手を引き離すことができるだろうか、(いやできない。)

問三 (ウ)

問四 帝の、中宮が懐妊しているながら、出家を決意するほどの苦悩を抱いていたことをつ
らく思う気持ち。

問五

強意 推量
受身

御覽ぜられでや止みはべり なん

問六 中納言の、中宮に対する、会いたいという気持ち。

問七 「大江」 大江(山)・おぼえ(覚え)

配点：問一 各2点×4、問二 各4点×2、問三 3点

問四 10点、問五 各2点×3、問六 6点、問七 4点

45点

六

問一 A そ B か C いへど(いえど) D いやし

問二 (ウ)

問三 どうして私だけであろうか。(いや、私だけではない。)

問四

(解答例)

①は疑問形の句法であり、問に対する答えを相手(孔子)に求めているという点と、

③は反語の句法であり、自ら(孔子)の考えを強調しているという点。

問五 君子

問六 為_下 窮而不_レ 困、憂而意不_レ 衰也、知_二 禍福終始_一 而心不_レ 惑也。

問七

(解答例)

不遇かどうかは時節によるものであるから、君子は自らを律して時が来るのを待つべきである。

配点・問一 各2点×4、問二 2点、問三 4点、問四 4点、問五 3点

問六 3点、問七 6点

30点